**火災通報装置等の概要表**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設置機器 | 品名 |  | 製造会社名 |  |
| 形式 |  | 認定番号 |  |
| 付属機器 | 品名 |  | 製造会社名 |  |
| 形式 |  | 認定番号 |  |
| 設置場所 | 本体 |  | 遠隔起動装置 |  |
| 自動火災報知設備の受信機の場所 |  |
| 自動火災報知設備との連動 | 連動する　　／　　連動しない |
| 蓄積音声情報 | （火災通報装置ボタン押下時）ピピピ　ピピピ　火事です、火事です。（自動火災報知設備連動時）ピンポーン　ピンポーン　自動火災報知設備が作動しました。（フリガナ）こちらは、電話番号は　　　　です。逆信してください。　蓄積音声時間　　　秒 |
| 本体から遠隔装置までの配線 | 耐火配線　　／　　耐熱配線その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 常用電源回路 | ブレーカーまでの専用回路　　／　　コンセント使用の専用回路 |
| 電話回線種別 | アナログ回線　　／　　デジタル回線　　／　　IP回線 |
| 起動装置の設置高さ等 | 本体部分　　床面から　　　　　ｍ遠隔装置　　床面から　　　　　ｍ　　　　　　　　箇所 |
| 接続電話番号 |  | 連絡電話番号 |  |
| アナログ回線使用時の確認事項 | ⑴　ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ契約、ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ契約又はPBﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ契約をしている。⑵　上記⑴の契約をしている加入電話回線と火災通報装置を接続している回線が同一である。（共用している） | 該当　／　非該当該当　／　非該当 |
| 二次通報先 |  |

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

　　　２　選択肢のある欄は、該当事項に○を記すこと。

　　　３　遠隔起動装置は、常時人がいる場所が複数ある場合には、本体設置場所以外に各所設置すること。

　　　４　蓄積音声情報欄には、事前相談をした後、所在地、防火対象物名称及び代表電話番号にフリガナを付け記入すること。

　　　５　二次通報先欄は、管理について重要な職責者が、夜間・休日等において建物内にいない場合がある時には、通報順位、職氏名及び電話番号を記入すること。